

瀬戸市議会基本条例の評価検証に係る報告書

平成29年4月に施行した「瀬戸市議会基本条例 第22条 評価検証及び見直し」において、「議会は、この条例の施行後、常に市民の意見、社会情勢の変化等を勘案し、定期的にこの条例の施行の状況について議会運営委員会等で評価検証し、その結果に基づいて必要な措置を講ずるものとする。」としています。

瀬戸市議会基本条例は、瀬戸市議会における最高規範として、これをもとに議会活動、議員活動を行っていくこととなっており、条例施行後、2年経過をし、令和元年、条例に記載されている内容を実施できたかどうかを評価・検証する事としました。

評価するにあたり、令和元年度、議会改革推進特別委員会において瀬戸市議会基本条例の評価検証を行うための手法について検討し、評価・検証シートを作成しました。全議員においてそれぞれ評価検証シートに記入し、会派を構成する議員においては会派において議論した上で会派ごとに評価検証シートを取りまとめ、その全体を取りまとめた上で議会改革推進特別委員会として内容の協議を行いました。

議会改革推進特別委員会として、議員各自が瀬戸市議会基本条例に対し、どのような認識とそれを踏まえた行動がとれているかを評価・検証し、今後の議会、議員活動の方向性を改めて見直すものであります。瀬戸市議会として評価・検証の内容をまとめるとともに、議会改革推進特別委員会としてとらえるべき課題について取り上げ、次年度以降の議論の対象としていきたいと考えます。

評価検証について

議会改革推進特別委員会におきまして評価検証シートを作成し、別紙により全議員に作成を依頼しました。項目ごとに、「取り組み状況等」「評価」「評価の理由・課題等」「今後の取組案・改正の有無」を設け、全議員が記入しました。この結果をとりまとめ、議会改革推進特別委員会で協議し、議会としての評価を作成しました。

評価結果について

項目ごとに評価を取りまとめた結果、「概ねできている」との評価が多くを占める中、「一部できている」、「できていない」と評価されているものもありました。

評価の高かったものとしましては、常任委員会の任期が2年になったことに

に伴い、長期的に調査・研究ができるようになり、委員会内においてじっくりと議論をしたうえで行政視察などが行えるようになった点があります。また、市民の皆さんからいただいた声を議会の政策資源として扱い、市政に反映させる政策サイクルの基点とするための活動「せとまちトーク」について、試行錯誤しながらも進めている点も高い評価でした。

一方、評価が低かったものとしては、議会としての意思決定をするために、議員間での自由な討議をより活発にすべきということでした。こちらについては早期の実施に向けて議会として取り組んでいきます。

今回の評価・検証の結果を踏まえ、「概ねできている」と評価されたものにつきましては引き続き取り組むこととし、「一部できている」、「できていない」と評価された項目は、今後、議会に取り組むべき課題として、議会改革推進特別委員会等におきまして実施に向けての道筋を検討していきます。

議会改革推進特別委員会での議会基本条例の評価・検証についての協議の日程

| | | |
|------|---------|---------------------------|
| 令和元年 | 8月19日 | 評価・検証の方法について、他市議会の事例 |
| | 9月2日 | 評価シートについて |
| | 10月1日 | 評価シートについて |
| | 10月9日 | 評価シートについて |
| | 10月15日 | 評価シートについて、評価検証方法について |
| | 10月23日 | 評価検証方法について |
| | (11月14日 | 議会運営委員会において全議員に評価検証の依頼) |
| | 12月23日 | 評価検証シートの取りまとめ |
| 令和2年 | 1月10日 | 評価検証シートの取りまとめ |
| | 1月20日 | 評価検証シートの取りまとめ |
| | 1月27日 | 評価検証シートの取りまとめ |
| | 2月3日 | 評価検証シートの取りまとめ |
| | 2月5日 | 評価検証について(龍谷大学 土山希美枝教授 出席) |

全議員研修

令和2年 2月 5日

全議員研修(龍谷大学 土山希美枝教授 出席)